

コンクリート構造物調査・診断



ホームページ

<http://kk-misaki.jp/>

検索

株式会社 岬産業

GO

お問合せ先

 株式会社 岬産業

〒761-0301

香川県高松市林町2217番地15 香川産業頭脳化センタービル3F

TEL: 087-887-5722 FAX: 087-887-5723

E-mail: kk-misaki@mc.pikara.ne.jp



コンクリート構造物の調査業務を 対策・検討まで一括管理

コンクリート構造物の補修・補強は、その劣化要因、劣化過程を適格に把握する事が重要になります。株式会社岬産業では適切な対策を提案するため調査・診断段階からお客様をサポートさせて頂いております。

調査対象構造物

水路

床版

洪水吐

BOXカルバート

頭首工

橋梁

隧道

トンネル



調査フロー



現場調査状況

目視検査

認定調査士が劣化状況を確認し劣化図面作成及び写真整理を行う。



打診検査

コンクリート表面をハンマーで、打撃しその音質により表面近傍の浮き、剥離の有無を調査。



鉄筋検査

コンクリート中の鉄筋本数やピッチ、かぶり厚さの確認を行う。



はつり試験

コンクリート壁面を削って、内部劣化状況(中性化・鉄筋等)を確認。



コア抜き調査

コンクリート構造物から試料コアを採取、骨材の種類や大きさ、劣化状況の確認。



コンクリート圧縮試験

採取コアを、専用の圧縮試験装置で検査するもので、専門の公的試験機関で行う。



中性化試験

採取コアに、フェノールフタレイン溶液を塗布して、コンクリートの中性化深さを確認。



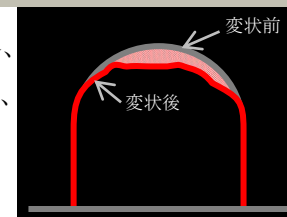
コンクリート曲げ強度試験

採取コアを、曲げ試験装置で検査。



変状検査

回転式レーザー測定機にて測定し、管理基準に沿って変状状況を診断し、対策を提案。



塩化物イオン測定

塩化物によるコンクリート内部の劣化状況を調査。



育成プログラム

独自のカリキュラムに基づいた講習を開催しており、能力に応じて一級調査士・二級調査士のエキスパートを育成しております。各講習を受講し、一定基準をクリアしたプロ集団にて調査・診断・対策まで責任を持ってお引き受けいたします。

